広報 とよひら

広報紙 第47号
豊平地区町内会連合会
発行者：中川 昭一
札幌市豊平区豊平6条7丁目1-12
TEL：011-811-9435

豊平の福祉に優の手が伸びる
豊平地区マークと福祉標語

町内会等のデジタル化に逆行する行政機関・社協等の現状への要望

本年四月、札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例（所謂「町内会条例」）が施行され、住民活動助成金の増額がされたほか、町内会役員の負担軽減やペーパレス化等を声高に呼びかけられている。スマホのラインを利用したグループチャット利用による回覧板の廃止等を目指し、市や区の「出前講座」も開催されている。ホームページやフェイスブックの公式ページを開設しているのは、町連と3単位町内会程度である。それでも、少しずつデジタル化の動きが前進した。

一方、市・区の行事案内は依然として郵送等によるペーパーである。会議やシンポジウム、研修会の開催案内、出欠回答は同封ハガキによる回答、あるいは指定用紙のFAX回答を求められる。特に社協の福祉関係の会議・研修会・シンポジウム等々。

せっかくペーパー行政を継続するための「通送」制度があるのだから、もっと活用したらいいとも思うが、郵便で案内が来る。受ける町内会の役員は、こんな会議等に縛られていて、仕事を持っている若手役員をいじめているようなものである。実施する行政機関は、有給でそれが仕事のようだが、土・日、平日の夜の開催等は珍しい。

シンポジウムや研修会に出られるのは自ずと高齢の役員である。頭もよく回らず、物忘れのする齢・婆に、大学教授だとか、ソーシャル・ワーカー、NPO法人の専門員が能書きを声高に話しされても、時間が長いし、苦痛なだけだ。

いいかげんに、この種の研修会等は30％位カットして欲しいものだ。そうしないと、町内会役員は成り手がいなくなるのです。せっかくの行政施策が逆行しているのです。

ちなみに、防災訓練・研修も市の危機管理局と各区から実施案内があるし、最近は消防や保健福祉当局や社協からも防災研修がなされている。窓口の一本化。調整ができないものだろうか。いずれも縦割り行政・縦割り予算の大弊害であろう。

今時、各町連事務局にはインターネットでつながっており、メールでやり取りできる。また、各単位町内会も然り。ペーパー通知即廃止。来年度から郵送料も大幅に値上がりする。貴重な血税、節約しましょうよ。

会議等は、極力削減し、例えば福まち推進センター等の運営助成金を増やしましょう。

また、札幌市の広報誌のほかに、消防、社協、子育て、市社協。区社協等がおのおの広報紙を発行しています。市なり、区、市社協、区社協なり、運営する公式ホー、ムージに重要なものを掲載すれば足りると思う。ホームページの設計・構成力が足りないからできないのかなとも思う。少し効率化しないと、職員の労力とカラー印刷費、用紙代をドブに捨てているようなものと思う。

今年は、「辰年」荒れる年と言われますが、もう一度、縦割りのタコつぼの中だけの視点から抜け出し、「市民のために」というタコつぼに関係者が全部入って議論しましょう。

（文責　W）

町連新年交礼会
日々の交流深める

令和六年一月九日、午後六時より、プレミアホテル、ツバキに於いて、豊平地区町内連合会主催の新年交礼会が、単位町内会会長、役員、各種団体及び、来賓二十七名を含め、総勢百七十五名の参加を得て盛大に開催されました。

冒頭、主催者側の挨拶として、町連会長中川氏より、新年早々に起こった能登の地震災害と、日航機事故について心痛な思いを話され、中川会長から「災害は防ぐ事は出来ませんが、日常生活の中に常に備えておく事が必要です。」との挨拶に続き、来賓者代表として芝井豊平区長より、町連各役員、団体、関係機関に謝辞を述べられ、能登地震と日航機事故にも触れ、特に能登の地震については町連防災部の基幹避難所訓練、単町での防災訓練など、地域コミュニティーの大切さや、地域での安全で安心に暮らせるまちづくりの充実を図り希望の持てる町内会として益々の発展を願いますとのお言葉を頂きました。

引続き、祝電披露、祝舞を花柳駒優美さんより「春を寿ぐ小曲一題」を優雅に舞って頂き迎春を祝って頂きました。

プログラムも進み、祝杯を設楽消防署長に取って頂き、署長より「ごちそうを前にして、長話は失礼となりますので、まずは皆様方が元気に集まれました事を喜びに替えて祝杯をあげたいと思います。」との一声で宴会が始まり各テーブルの参加者は、顔見知りも多く歓談も和やかに交遊を深めていました。

昨年まではコロナ禍の為、余興は中止を余儀なくされていましたが、それも解除され、時間と共にお酒も入り、日頃の美声や、演舞も披露され防犯防災部では部員総出の合唱には、道議会議員に飛び入りで舞台に上がってもらい会場を盛り上げておりました。

宴もたけなわとなり、地域町内会の一層の親睦を深め楽しい一時を過ごす事ができ、閉会の挨拶を渡辺町連副会長より述べられ、本来なら町内会発展の言葉と万歳三唱で閉会するところでありますが、新年早々の能登地震の災害を踏まえ、万歳三唱に変え乾杯で締め、豊平町連の今年のスタートを切りました。

我が町内 豊平第17分区町内会

豊平第17分区町内会は西側に北海学園の大学、北海高校北海学園札幌高校があり、町内には北海学園の大学院と北海商科大学、留学生センター、ユースホステル、池上学園高等学校があり、地下鉄東豊線が平成6年に開通し学園前駅が出来て便利になりました。マンションやアパートの多い680世帯余の住民が住む町内会です。

昨年5月に新型コロナが5類になり、漸く以前の様に活動計画を立てることが出来る様になり、文面開催であった総会も顔を合わせることで企画や事業が開催できるようになりました。

4月に新一年生にお祝いに贈呈を行い、22日に春の一斉清掃を80名ほどの参加者で開催し、夏と秋の清掃も予定通り開催する事が出来ました。独自に丸彦渡辺建設さんは社員の皆さんが参加され町内の地域貢献活動として清掃活動を毎年続けていただいております。

5月には花ランド事業に参加、町内会のほかに、丸彦渡辺建設、北海商科大学、ユースホテルさんから花の協力があり、ラポールマンションやデュオ学園の杜さんは独自に花を用意し、住民の方が花植えに参加され3500株にもなる花を植樹マスやプランターで飾りました。

花植えには町内会員は勿論、丸彦渡辺建設社員の皆さん、商科大の先生、学生、留学生の皆さんと多くの方々が参加されての町内会一大イベントになっています。

昨年初めて留学生会館と町内会で日本の伝統行事の盆踊りを留学生会館体育室で開催し育成委員会の大窪さんが太鼓を用意して頂いて町内会の皆さんは日本伝統のユカタやハッピで盛り上げて留学生の皆さんも多数喜ばれていました。

8月には地区最大のとよひらふれあい祭り、町内会より多くの役員がお手伝いをしてまた夏の一日を楽しみました。28日には北海道マラソン大会にも例年通り10名が沿道警備のボランティアとして活動いたしました。9月には米寿祝を社協祝とともに高齢者に贈っております。

10月7日は防災訓練を留学生会館での開催し、防災意識を高めています。12月2日には世界探検祭り（前留学生かいかんまつり）が開催され例年通り町内会では日本の餅つきを行い、あんこ餅やお汁粉等で完食されました。駒優美会はハッピで日本舞踊を披露楽しく交流いたしました。

新年会や2月は町内除雪と雪対策で春を迎えました。

豊平の歴史巡り会

今年の豊平歴史巡り会は、当初の予定コースが急遽変更となり、中山峠～ピリカコタンルートとなりました。中山峠では雪の降りしきる中、本願寺道路の話を中川会長が行いました。また、小金湯にあるピリカコタンでは館内の担当者による解説があり、アイヌ文化を見て回りました。

豊平川の話⑥

令和5年8月4日豊平川に39番目の橋が完成した。東区北24条から白石区内に通ずる「北24条桜大橋」である。

豊平川には多くの橋があるが、市内中心部に架かる幌平橋は市内中央区中島公園と豊平区中の島に架かる重要な橋で、昭和2年呉服商で事業家であった江別の北海道議会議員河合才一郎氏が中の島の土地を宅地として販売し、その価格に坪1円を上乗せし4万円で橋を架けた。当時個人がかけた橋では日本一と言われていた。

河合才一郎氏は北海道議会議員であったので詳しい資料があるのではと思ったが、生没年不詳であり議員になった経過もわからなかった。5期20年も議員を務めていることから広く活動されていた方であろう事が思われる。個人では橋の管理は難しく昭和12年に北海道に移管されている。

中の島では当時ブドウ園、製氷場、火薬庫などがあり、その奥は平岸でリンゴ園が広がっていた。西線16条までリンゴを運び、市内で販売、海外にも輸出されていたと言う。その後、橋のすぐ横では精進庵という料亭を営み、後に精進川の堤防上に道路を新設、その脇に33体の観音像を設置するなど社会に貢献されている。

現在精進庵跡には顕彰碑が建立されている。

札幌開拓主村鉄一　碑銘顕彰保存会
中川　昭一

現代の幌平橋

橋を架けた河合才一郎氏

現在の幌平橋

碑　「開墾魂」昭和18年碑

お知らせ

豊平地区町内会連合会から

次の方々が表彰を受けられました。

○北海道共同募金会会長表彰
中川　昭一さん

○交通安全功労者知事感謝状
吉川　鴻治さん

○札幌市交通安全運動推進委員会会長表彰
田中　範子さん
寒川　玲子さん
湯谷　由美子さん
大窪　祐子さん
吉屋　康子さん
桑原　静子さん

○札幌市防災表彰
豊平第18分区町内会

【防災コラム】

豊平区のコミュニティFMはFMアップル76・5MHz。市内で災害が発生した場合、優先的に非常放送を行います。

編集委員長　渡辺　英雄
編集委員
石川　紀男・有馬　尚経
瀧口　潔・吉川　鴻治
工藤　修一・中村　和司
大窪　祐子・菊地　久志
多田　裕子・湯谷由美子

SAPPORO

町連体育振興部の活動

ボウリング大会

昨年11月26日（日）、オリンピアボウリング場で各町内会から男女43名が参加しました。ゲームは2ゲームトータルで、楽しいひと時を過ごし、ゲーム終了後、豊平会館で表彰式を行いました。

男性1位、中村一美さん（13分区）、女性1位は大浦恵美子さん（18分区）でした。

スキーを楽しむ会

本年2月18日（日）、ばんけいスキー場で、各町内から親子27名が参加しました。

コロナ禍のため、4年ぶりの開催でしたが、晴天の温かさにも恵まれ、楽しく存分に楽しみ、事故もなく無事終了しました。

コロナ前は参加者が百名前後を数えましたが、主催者側としては少し寂しい思いがありました。「参加者が少なければ、町内会も助成金まで負担してまでは、疑問だ。以後、中止しては」との厳しい声もありますので、来年は最低でも50名以上は参加いただけるようPRに努めますが、皆さんのご協力をお願いいたします。

女性部活動

町連女性部では、毎月25日（土日は変更）に豊平会館にて単町の部長が集まり定例会を行っております。

子育てサロン豊平児童会館、こりんと東園ひろば、こりんと旭水ひろばのお手伝い、町連行事への参加、がん検診の案内、とよひら福祉募金の お願い等を行っております。

「豊平地区母の会」の会員でもありますので年4回の街頭啓発、交差点での通学時の子供の見守り、新1年生に贈る「真っ赤なりんごちゃん」マスコット作りなどもしております。令和5年度、交通安全功労者知事感謝状を4名（10年、札幌市交通安全運動推進委員会会長感謝状を6名（5年）が受賞しました。また、1月23日、区女性部の活動で雪まつりの大雪像作りをされている自衛隊員を激励カップラーメンを贈呈させていただきました。

みなさんの協力とご理解で活動ができています。ありがとうございます。

ご協力ありがとうございました。今年度も、たくさんのご厚意頂きました。

共同募金	763,000円
日赤募金	797,000円
豊平福祉募金	239,518円

※能登半島地震義援募附金
町連＋各町内会合計　50万円

環境衛生部駒岡研修

約4年間活動を縮小して活動して来ましたが、町連環境衛生部の復活です。約4年の間、各町内会の役員さんは頑張って活動していました。今回4年ぶりに、令和5年12月19日に駒岡資源選別センターにて施設見学会を開催しました。

テーマはゴミの再生です。駒岡に集められた資源ごみを機械や手で選別して、いろいろな資源に活用できるようになります。

プレス梱包機で圧縮成形されスチール缶、アルミ缶、ペットボトル等に分けられていきます。午後からは駒岡保業センターにて清掃事務所から講師一人を招いて出前講座の講習を受けました。

久しぶりの研修なので皆さん真剣に食い入るように映像や講話を聴講しました。

ゴミ収集の仕方も、少しずつ変わってきています。特に電池の出し方には気をつけなければいけません。変な出し方をすると収集車や施設で発火することもあり、大事になりかねません。分別、捨て方はルールを守りましょう。

各町内会の役員は雨の日も風の日も雪の日も豊方の町内を守っています。少しの気づかい

安全 交通ルールを守ろう！ 安心 合同パトロール

毎年行なわれます豊平地区違法駐車防止合同パトロールが一月一九日実施されました。

これには区役所、豊平署、豊平町連、豊平土木の四団体の方々が参加されました。

パトロールは、豊平方面と旭町・水車町方面の二班に別れ約一時間半の行程で行なわれました。

今年は小雪で安心しておりましたが、実施前の一三日頃から急に降りだし除雪も間に合わず場所によってはデコボコ道も何カ所かありましたが、各方面とも違法駐車は皆無でした。合同パトロールの目的は夜間の除排雪の妨害となる夜間の路上駐車の防止と防犯の為ですが、毎年良くなっていると思われます。

道内の交通事故死者数は、昨年一三一名と前年比、16人増と四年ぶりの増加になりました。交通事故防止のため、スピードダウンなど基本的ルールを守りましょう。

ときわ豊友会 紹介

「豊平ときわ倶楽部」1団体を平成14年4月6団体に分ける編成換えで旧鉄南地区を中心とした「ときわ豊友会」として発足しました。当時は80人を越える会員で運営されてきましたが発足から20年を経過、会員の高齢化も進み最高年齢百四歳を筆頭に平均年齢が82歳と高く現在31人の会員で活動中です。豊平区と12分区町内会の支援で元気な会員の力を借りて、豊平公園クリーン作戦・豊平神社、歩道の草取り等、少しでも地域の社会貢献に繋がる奉仕が健康につながり、隔月定例会と温泉旅行の活動を中心に継続しております。現在の主な行事は4月の総会・10月の日帰り旅行・自作オセロゲーム・クイズ・その他、健康第一・仲間との再会・楽しい話題・パソコンも会員で操作出来ず、老後の気楽に集まる会としてこれからも継続したいと思っています。会員募集中！

札幌市防災表彰式

1月18日（木曜日）午後2時から、ホテルモントレエーデルホフ札幌（中央区北2条西1丁目）で令和5年度札幌市防災表彰式が開催され、11団体が表彰を受けました。

「札幌市防災表彰」は、札幌市が推進している自主防災活動の普及や活性化を願い、市民の模範となる活動を行った組織を表彰しているものです。豊平区区からは防災活動に取り組んできた第18分区町内会が選ばれ、秋元克広札幌市長から、会長千葉玉枝さんに表彰状が手渡されました。

第21回 福まち支援豊平・美園地区老人クラブ連絡協議会主催 お楽しみ演芸大会開催

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、毎年開催していた演芸大会も令和2年から同4年まで中止を余儀なくされてきました。令和5年10月22日（日）、4年ぶりに開催することができました。

この間に、地区老連下の単位老人クラブにおいては、全国的な傾向同様、会員数・クラブ数も減少し、令和5年、区老連の調整により、豊平地区老連と美園地区老連が合併し、豊平・美園地区老連に改編し、活動の活性化を目指しておりますが、改編後の初演芸大会となりました。

大会には詩吟（1）、舞踊（5）、カラオケ（11）、仮装カラオケ（1）と豊平地区のフラダンスチームの特別参加を含め、22演目の皆さんが出演、出演者・観客計百二十一名で盛り上がり、久しぶりに会員がうっぷんを晴らすがごとくの大熱演に拍手喝采でありました。

特に圧巻だったのは旭水クラブのエンターティナーが女装して「さそり座の女」を身振り、手振りよろしくステージから観客席に降りての大熱唱に大笑い、楽しいひと時を過ごしました。

老若男女 個性豊かな演芸に 大盛り上がり！